

● 背景とねらい

<背景>

- 全国各地で大規模水害が発生している。
- 地球温暖化に伴う気候変化の影響により大規模水害の発生が懸念される。
- 大規模災害を想定して香川地域継続計画の検討が進められている。

<本ワークショップの位置付け>

- 大規模水害発生後の“**地域の生き残り計画**”について、“**住民目線**”で議論する先進的な取り組み
- 大規模水害に着眼し、“**上下流の地域が一体**”となって広域的に議論する“**全国でも初めて**”の取り組み

<本ワークショップのねらい>

- 土器川流域において、“**水害に強いまちづくり**”を目指した流域・地域で一体となった大規模水害対策を推進
- 流域住民等の意見集約、情報共有、共通認識の醸成

1

ワークショップの概要(2)

● 検討組織と役割(3つの組織)

- **ワークショップ** (事務局:国交省) : 検討のための意見集約・情報共有
- **検討会** (事務局:国交省) : 「とりまとめ書」の検討
- **協議会** (事務局:香川大学) : 連携・サポート
 - 大規模水害対策ワークショップ(ワークショップ)
 - 大規模水災害に適応した対策検討会(検討会)
 - 香川地域継続検討協議会(協議会)

● ワークショップの対象

- 土器川流域:国管理の区間(河口～常包橋上流)
- 検討対象の水害:**堤防の決壊に伴う大規模水害**
 - 土器川では大正元年に発生
 - 近年、他県で実際に発生
(H24年7月九州北部、H16年7月新潟・福島、ほか)

2

ワークショップの流れ

